

農業で自分の時間を大切に（伊豆の国市）

R5.12.21訪問



お名前	宇田 朋幸さん（44歳）
就農した時期	2019年10月（就農5年目）
栽培品目	ミニトマト
栽培面積	ハウス 28a（作業場含め30a）
販路	JAへ全量出荷
働き手	本人・パート6名（午前のみ）



■ 就農したきっかけ

大学から地元を離れ、そのまま県外の民間企業に就職し、休日が土日ではない勤務形態で働いていました。そのような中、子どもの小学校入学のタイミングで会社から海外出向の話を受け、今後の働き方や家族と過ごす時間について考えるようになりました。そして38歳の時、これからは自分で自分の時間を作れるようになりたいという思いから、故郷へ戻り就農することを決めました。その後、JAに勤めている親戚の紹介で「がんばる新農業人支援事業」に応募し、指導農家さんの元で研修を受け、栽培技術や農業経営について学びました。

■ 就農して苦労したこと

お金の管理に苦労しました。昨年は病気が出たことで前年より収量が減ってしまったのですが、収益の良かった前年の税金の支払いを想定できておらず、確定申告時に初めて気が付きがっかりしてしまいました。一人で経営していると節税や経営に関する知識・情報を得にくいため、周囲の農家さんに聞いたり、積極的に情報交換をしたりするようにしています。

■ 今後取り組みたいこと

まずは単収を上げるなど、生産面をしっかりと取り組んでいきたいです。その後は経費を抑え生産効率を上げていくことで、徐々に栽培面積と品目を増やしていきたいと思っています。

■ 新規就農を目指す方へメッセージ

農業は、働く時間を自分でコントロールできるので、うまくやれば他にやりたいことに時間が使えるようになります。農業のおかげで、人生も豊かになると思います。